

2011年以降、航空機部品受注を本格化

3次元測定機ほか、磁粉探傷装置など品質保証体制充実

航空宇宙産業に関わる国際認証「AS9100」(JIS Q 9100)を取得



「工具寿命が2倍、ピビリが少なく、仕上げ面もきれい」
(国井照之製造課長)



量産加工でスーパーG1チャックが活躍
工場の全景

スガサワは、グループ会社である菅沢製機で大江町工場が分離され、1981年、油圧機器の製造を皮切りに創業した。その後には現在の寒河江市中央工業団地に寒河江工場を新設、移転。油圧機器ばかりか、ディーゼルエンジンの燃料噴射装置や航空機部品など、より精度要求の厳しい加工部品に事業を広げてきた。

長谷川俊明管理室長は「旬」の取り組みと言えば、B737向けのフライトコントロール部品の供給を手がけるアメリカの航空機部品メーカーと1994年からプロジェクトを立ち上げていることだろう。販売で売れ筋の機体が半端ではないと、質と量の双方をクリアしていく条件の厳しさを覗わせる。

前年から海外メーカーとの付き合いがあり、一般部品でも、国内よりも品質要求が厳しかった。2011年に識して以来、2011年に航空宇宙産業に関わる国際認証「AS9100」を取得し、営業活動を本格化し、営業活動が本格化した。この間国内外から航空機部品の受注獲得に成功してきているが、今後現在立ち上げ中の前

述のプロジェクトを含め、航空機分野を強化していく方針をうたう。「求められる品質に対していくらか検査設備には力を入れている。3次元真円度形状の各測定2倍以上の従来は80

B737向けフライトコントロール部品で米・部品メーカーとプロジェクト立ち上

機はもちろん、航空機部0個加工して交換したいのが、2000個にまで増えた。ピビリが少なく、仕上げ面もきれいに仕上げたい。油圧機器の穴あけ加工が1.5倍から2倍に伸びた。航空機部品では、エンドミルは断然。

航空機分野で要となるのは何と言っても品質保証。個々の材料から始まり、機器部品すべてに飛行機が「退役」するまで、トレーサビリティは欠かせない。

スガサワでは、30年以上の経験を生かして、航空機分野で要となるのは何と言っても品質保証。個々の材料から始まり、機器部品すべてに飛行機が「退役」するまで、トレーサビリティは欠かせない。

余談ではあるが、「当初、航空機部品の加工で、切削音が相当大きかったのが「大丈夫か」と感じたり、逆に対峙しているうちに、精度は高くなり、量もなすべく加工では、文句なしに断然。



「スーパーG1チャックとの出会いは、航空機部品の量的拡大時、工具寿命伸長でメリット大」
(長谷川俊明管理室長)



昨年導入した非破壊検査の「磁粉探傷装置」



各種測定機が導入され、品質保証に万全を期す

航空機需要拡大中のスガサワ(山形・寒河江市)訪問

油圧機器、燃料噴射装置で高い評価

高精度ツリーリングシステム スーパーG1チャック



精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く



ユキワだけ精度を保証!

しています。

YUKIWA ユキワ精工株式会社
スーパーG1チャック 検索
<http://www.yukiwa.co.jp/>
本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.